

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和6年度

施策コード	222	施策	消費者意識の向上
管理事業	消費生活事業	所管部局	市民部

1	所管 室課	市民総務室	事業名	消費生活事業			
事業概要							
消費者啓発、消費者相談、計量、特殊詐欺被害防止対策							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
(1) 消費生活相談件数 令和4年度 2,771件 令和5年度 2,649件 令和6年度 2,500件			決算額 (千円)	30,369	36,191	42,032	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)	81.8	75.6	76.4	
(2) 啓発講座実施回数と受講者数 令和4年度 8回 219人 令和5年度 6回 173人 令和6年度 7回 180人			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
(3) 防犯機能付電話機等購入補助申請件数 (令和5年度事業開始) 令和5年度 957件 令和6年度 799件			スマートフォン等の普及に伴い、インターネットによる通信販売やゲーム課金などの契約トラブル、SNSを悪用した副業・投資等のトラブルが増加している。特殊詐欺被害件数も減少に転じていないことから、今後も専門知識を有する消費生活相談員のスキルアップを図るとともに、消費者被害の最新事例を紹介するなど啓発内容の充実及び講座の開催方法等の工夫を行い、吹田警察署や顧問弁護士と連携することで消費者トラブルを未然防止し、さらに自己解決力の向上を図る必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
(4) 特殊詐欺被害対策に係る事業説明等の実施回数 (令和5年度事業開始) 令和5年度 54回 令和6年度 20回						継続	
						相談体制の維持・充実を図り、消費者トラブルの未然防止に努める。	

2	所管 室課	市民総務室	事業名	消費生活センター管理事業			
事業概要							
消費生活センター管理							
活動実績			年度	R 4	R 5	R 6	評価の視点
施設管理のための委託 土地家屋の借上げ 光熱水費の執行 ほか			決算額 (千円)	6, 677	7, 090	8, 018	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99. 9	99. 9	99. 9	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
			消費生活センターが区分所有している吹田さんくす3番館は、入居後40年以上が経過し、内装や設備の老朽化、バリアフリー対策が不十分などの課題がある。市の公共施設最適化計画に則して進める必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			施設の老朽化・狭あい が課題である。				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名